

社協さくら

第164号
編集・発行

ふれあいネットワーク



社会福祉
法人

佐倉市社会福祉協議会

発行人 左奈田 雄一

〒285-0013

佐倉市海隣寺町87番地 社会福祉センター2F
TEL 043-484-6197 FAX 043-486-2518

URL <http://www.sakurashakyo.or.jp>

10年先のふるさと佐倉を考えて

市民との協働、職員のがんばりに感謝 蔵市長二期目の福祉への思いを聞く

4月24日の市長選挙で当選を果たした蔵和雄市長に、2期目の抱負と、3月11日に発生した東日本大震災から得た防災に対する思い等をお聞きしました。



東日本大震災の発生で、今後の市政に生かしていきたいこと

断水、停電という問題は予想以上に大きな課題を残しました。佐倉市は65%の水を市内の井戸で賄っていますが、次々と問題が発生し断水となりました。防災井戸は1期4年間で13本掘り、今回非常に役立ちました。今後も整備を進め、今年度は6本掘る予定です。

2期目の抱負

1期目では、今後さらに進むであろう少子化・高齢化社会を見据えるなかで、子育てしやすく、学びやすく、働きやすく、そして老後を過ごしやすい活力ある佐倉を創造するための、各種施策に取り組む、約9割を超える項目で着手することができたと考えております。

今期は、引き続き福祉、健康、教育部門を施策の柱とするなかで、5年先10年先を見越した企業誘致や地場産業の育成、農業、観光の活性化など産業振興にも力を注ぎ安定的な財源確保に努めたいと考えております。

また今回の大震災を経験し、市民の生命と財産を守るための対応など、直面する喫緊の課題に対しては、一層のスピード感を持って取り組んでまいります。



地域の防災力を高めることも大切です。大規模災害発生直後の人命救助、消火活動は近隣住民の互助に頼らざるを得ません。消防署をはじめとする行政の防災機能が回復するには3日かかると言われております。その間を生き延びていただくための地域自主防災組織が、

是非とも必要です。民生・児童委員をはじめ、福祉に関わる方々には災害時の被災者のサポートはもとより、平常時から地域の自主防災活動への支援をお願いしたいと考えております。

新福祉計画のスタートにあたって

市、社協、社会福祉法人、福祉サービス事業者、NPO法人、ボランティア、自治会・町内会、民生・児童委員、市民がそれぞれの特性を生かして、

協働できる体制を整え、協力、連携していくことが重要と考えています。市内全域を範囲として、長年にわたり地域住民と一体となった活動を展開されている社協、14地区社協には市民相互の支え合いによる地域コミュニケーションづくりにより市と連携して取り組んでいただけるものと期待しています。

高福祉・低負担への挑戦

現在求められるのは、人間の尊厳にふさわしい福祉です。それは行政ま

去る5月18日開催された理事会において谷田部会長が退任を表明し、承認されました。後任の会長には理事の互選により臼井地区社会福祉協議会の左奈田雄一会長が選任され、7月1日付で就任いたしました。

左奈田新会長は、第4次佐倉市地域福祉活動計画「ともに歩むふくしプランⅡ」の策定委員長として計画の策定に尽力されました。



地域に密着した福祉活動を行うことが我々の使命

左奈田 雄一

このたび佐倉市社会福祉協議会会長に選任されました。3月11日に発生した東日本大震災では未曾有の被害を受け、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、罹災された方々が一日も早く日常の生活に戻れますことをただただ願うばかりです。

こんな状況下にあつてこそ地域に密着した地域福祉活動が求められるところ。佐倉市内においても家屋の全半壊が多数報じられており、その地域ではご近所力が発揮されていることでしょう。

社会福祉協議会の活動は、それ自体での活動もちろんですが、市内14地区にある地区社会福祉協議会の福祉委員の方々が第一線で活動されていることが原点になっています。

行事予定	
7月	臨時理事会
8月	内部会計監査
8月1日	地区社協会長会議
8月4日	役員・評議員研修会
9月	
9月22日	第2回共同募金会
9月29日	佐倉市支会理事会 第2回理事会 第2回評議員会

かせではなく、様々な協働を通じて実現されるものです。社会的な支援が必要な方々への理解が進み、みんなが住み慣れた地域で豊かに暮らすための環境が整うことで、協働を通じ、負担能力のない方や低い方も必要な福祉サービスが十分受けられます。私が「高福祉・低負担」を掲げたのは、このように全ての人が幸せに暮らしていけることを目標とするからです。その実践には、財源をはじめ困難な課題が横たわっていますが、2期目も全力を挙げて取り組んでまいりますので、よろしく願います。

インタビューの中で、市民との協働・職員の皆さんのがんばりへの、感謝と期待が繰り返されていた事が印象的でした。ありがとうございました。（5月26日収録）

平成22年度事業・決算報告

事業報告

【総括】
経済的困窮は低所得世帯に限らず日常生活に変化をもたらし、生活福祉資金貸付や善意銀行小口貸付金、社協が実施している介護保険事業等の各種支援事業の利用者にも大きな影響が出ています。
第4次地域福祉活動計画を策定するとともに第3次計画である「ともに歩むふくしプラン」の最終年度で、中間評価を踏まえた事業実施と年次計画に従い7項目を重点実施事項として各種事業を実施しました。
東日本大震災では、災害ボランティアセンターを設置して市内の被災者、東北

地方からの避難者の支援活動にあたりました。
組織体制基盤の強化については、貸付相談の急増に対応するため福祉資金班を創設しました。

【重点実施事項】
①第4次地域福祉活動計画の策定
この計画の特徴は、行政計画の策定と同時進行で進められ、「協働のしくみづくり」については共通の課題であり同じ記述になっています。また、社協発展・強化計画と一体的に策定しました。
②地区社会福祉協議会活動の支援
課題別研修会を4回実施し、地区社協活動の現状と課題、活動の方向性などに

ついて具体的手法を学びました。また、多様な福祉課題の抽出やそれに取り組む活動等を発掘し、住民相互の支え合いを基調とした活動の活性化を図りました。
③ボランティア活動・市民公益活動の支援
新たな助成制度の説明会の実施、「推奨テーマ」の設定など平成23年度の実施に向けての準備を行い、また、災害部会・研修部会が実施事業の企画にあたりました。
④在宅福祉サービスの充実
「法人後見事業」への取り組みについては、検討委員会、重要施策検討懇話会で検討し、平成23年度実施に向けて準備を行いました。
⑤災害時福祉救援活動体制の構築

平成22年11月に千葉県社協と災害時相互援助協定を締結しました。東日本大震災後、佐倉市社協では佐倉市やボランティア連絡協議会等と協議し佐倉市災害ボランティアセンターを設置し、支援活動等に取り組みました。

⑥会員拡大と基金の活用
会員募集や共同募金活動への参画と会費や募金と活動の循環についての説明会を実施しました。基金活用では、菊地久治勉学奨励金奨学生2名が奨学金を受けることになりました。
⑦組織体制基盤の強化
人事考課制度の試行的導入を図り、人材育成、職員の質の向上に務めました。今後は経営全般にわたる改善計画を策定し基盤を強化する必要があります。

東日本大震災義援金募金のお礼

東日本大震災義援金募金にご協力いただきましてありがとうございます。皆様のご協力により千葉県共同募金会佐倉市支会にお寄せいただいた義援金は、6月10日現在で下記のとおりです。

被災地全域 14,507,898円
千葉県限定 764,801円
合計金額 15,272,699円

引き続き、東日本大震災で被害を受けた被災者の方々の支援と、復興支援を目的に義援金を募集しておりますので、ご協力をお願いいたします。

○義援金の種類
①東日本大震災義援金(全域)
②千葉県内の被災者に配分を限定した義援金
③被災地で活動するボランティア団体・NPOへの支援金募金

○受付期間 平成23年9月30日(金)まで
○受付窓口 社会福祉センター及び西部・南部の地域福祉センター

※義援金は①②③いずれも直接銀行振込みもできます。口座など詳細は佐倉市社会福祉協議会ホームページを参照または下記へお問合わせ下さい。

○問い合わせ
千葉県共同募金会佐倉市支会
TEL 043(484)6033
佐倉市社会福祉協議会ホームページ
URL: http://www.sakurashakyo.or.jp

決算報告

事業別資金収支計算書 (単位:円)

勘定科目	社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計
収入				
会費	22,134,984			22,134,984
寄附金	2,635,950			2,635,950
経常経費補助金	100,217,504			100,217,504
助成金	3,747,979	1,498,061		5,246,040
委託金	36,704,437	50,583,000		87,287,437
事業	28,097,852	4,467,680	25,933,097	58,498,629
介護保険		52,939,739		52,939,739
貸付事業等	7,638,000			7,638,000
共同募金配分金	25,389,410			25,389,410
負担金	1,011,237	17,648		1,028,885
雑収入	127,850	1,856,991		1,984,841
受取利息配当金	1,303,056			1,303,056
会計単位間繰入金	13,348,660			13,348,660
経理区分間繰入金	8,677,935			8,677,935
施設整備等寄附金	253,000			253,000
投資有価証券売却	62,600,000			62,600,000
積立預金取崩	10,368,000			10,368,000
収入合計	324,255,854	111,363,119	25,933,097	461,552,070
支出				
売上原価			12,071,148	12,071,148
人件費	142,204,831	72,876,168	6,633,888	221,714,887
事務費	7,533,402	4,264,798	2,032,979	13,831,179
事業費	64,755,897	21,388,244		86,144,141
貸付事業等	9,205,000			9,205,000
助成金	17,681,959			17,681,959
負担金	170,200	137,581		307,781
会計単位間繰入金		8,735,660	4,613,000	13,348,660
経理区分間繰入金	8,677,935			8,677,935
固定資産取得費	150,000			150,000
投資有価証券取得	62,208,132			62,208,132
積立預金積立	1,543,593			1,543,593
減価償却費			2,686	2,686
退職共済預け金	7,840,285			7,840,285
支出合計	321,971,234	107,402,451	25,353,701	454,727,386
法人税・住民税・事業税			86,400	86,400
当期資金収支差額	2,284,620	3,960,668	492,996	6,738,284
前期末支払資金残高	32,944,216	41,299,460	3,340,267	77,583,943
当期末支払資金残高	35,228,836	45,260,128	3,833,263	84,322,227

貸借対照表 (単位:円)

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
資産の部		負債の部	
流動資産	101,066,526	流動負債	27,234,926
現金	414,972	未払金	14,711,405
預貯金	75,931,680	預り金	742,281
商品	1,039,943	買掛金	1,122,242
未収金	22,122,026	前受金	254,100
貯蔵品	162,601	賞与引当金	10,404,898
前払金	1,395,304	固定負債	135,099,715
固定資産	644,961,780	退職給与引当金	135,099,715
基本財産	155,713,506	負債の部合計	162,334,641
基本財産特定預金	3,000,000	純資産の部	
建物	149,236,490	純資産	583,693,665
建物付属設備	3,477,016	基本金	3,000,000
その他固定資産	489,248,274	基金	337,397,111
車両運搬具	1,536,021	福祉基金	241,784,196
器具及び備品	1,379,237	菊地久治勉学奨励基金	88,022,994
電話加入権	150,584	国庫補助金等特別積立金	718,750
投資有価証券	139,347,556	国庫補助金等特別積立金	718,750
退職共済預け金	112,344,215	その他の積立金	36,881,000
長期貸付金	7,280,969	備品購入積立金	4,743,000
備品購入積立預金	4,743,000	自動車購入積立金	1,000,000
自動車購入積立預金	1,000,000	修繕費積立金	13,208,000
修繕費積立金	13,208,000	善意銀行積立金	4,000,000
福祉基金積立預金	102,389,040	嘱託員等退職金積立金	3,930,000
善意銀行預金	4,000,000	在宅福祉積立金	10,000,000
嘱託員等退職金積立預金	3,930,000	次期繰越活動収支差額	213,286,725
在宅福祉積立預金	10,000,000	純資産の部合計	583,693,665
菊地久治勉学奨励積立金	87,939,652	負債及び純資産の部合計	746,028,306
資産の部合計	746,028,306		

財産目録 (単位:円)

資産・負債の内訳	金額
I 資産の部	
流動資産	
現金	414,972
預貯金	75,931,680
商品	1,039,943
未収金	22,122,026
前払金	1,395,304
貯蔵品	162,601
流動資産合計	101,066,526
固定資産	
基本財産	155,713,506
基本財産特定預金	3,000,000
建物	149,236,490
千葉県佐倉市海隣寺町8-7番地 所在の鉄筋コンクリート造陸屋根5階建社会福祉センター建物 1棟 2,077.15㎡	
建物附属設備	3,477,016
その他の固定資産	489,248,274
車両運搬具	1,536,021
器具及び備品	1,379,237
権利	150,584
投資有価証券	139,347,556
長期貸付金	7,280,969
退職共済預け金	112,344,215
備品購入積立預金	4,743,000
自動車購入積立預金	1,000,000
修繕費積立預金	13,208,000
在宅福祉積立預金	10,000,000
福祉基金積立預金	102,389,040
菊地基金積立預金	87,939,652
善意銀行預金	4,000,000
嘱託員等退職金積立預金	3,930,000
固定資産合計	644,961,780
資産合計	746,028,306
II 負債の部	
流動負債	
未払金	14,711,405
預り金	742,281
買掛金	1,122,242
前受金	254,100
賞与引当金	10,404,898
流動負債合計	27,234,926
固定負債	
退職給与引当金	135,099,715
固定負債合計	135,099,715
負債合計	162,334,641
差引純資産	583,693,665

東日本大震災被災地支援活動に
多くのボランティアが参加しました

このたびの東日本大震災では、佐倉市でも多くの方が被災し、東北地方からも避難されている方がおります。東北各県の被災地にボランティアとして支援に行かれた方もいらっしゃると思います。一方ボランティア活動に際してさまざまな問題も出てきています。現地で活動した3組の方の体験談をご紹介します。

海外から急遽帰国

大学生 浅井 夢花

この度の大震災をオーストラリアで知り、海外の方たちの心配の大きさに刺激を受け、帰国しました。入学式延期を知り、今しかないトリュック一つで石巻に向かい、現実の、悪臭、土埃、ガレキの山に衝撃を隠せませんでした。私の作業は家屋の片付けでしたが、家族の方は意外にも明るく、笑顔で接してくれました。その笑顔を見て安心すると同時に、悲しくもあり、心が締め付けられるようでした。お礼にと長時間並んでやっと手に入れた配給のパンを私たちにくれるのです。このパンが家族の方にとつてどれだけ貴重なものなのかと考えると心が苦しくなります。

被災者の方の体験はどれも想像がつかない、涙の止まらない様な現実ばかりです。不安ばかりの毎日でしょう。それでも被災者の方々は笑顔で前に進もうとしていました。また時間を見つけて飛んで行くかと思っています。少しでも被災者の方々の不安が少なくなることを願っています。

ボランティア活動で

感じたこと

看護師 増田 一枝

東日本大震災後、何か手伝えなれないものと五月の連休後八泊九日で被災地へ行った。3・11から二カ月以上経っているのに、大槌町や陸前高田市は手つかずのままのようだった。テレビや新聞で見たのとは大違い。ここに町が存在したとは思えないくらい全て流され想像を絶する。被災者は二カ月以上も体育館や公民館で暮らしている。日本全国、遠くアメリカ、カナダからも若者や中高年がボランティアに来ている。ガレキ処理、炊き出し、話を聞く、物資の仕分け等それぞれが出来ることをする。全てが自己完結。食事、移動手段、宿泊、体育館で寝た。ボランティアどうしも助け合う。東北の人たちの我慢強さにも感心した。若者達の頑張り様を見ると、まだ日本も捨てたものではない。長い目でボランティアを続けて、また被災地へ行って役に立ちたいと思った。



宮城復興支援センターへ物資輸送

佐倉青年会議所理事長 長谷川 智之

4月29日午前2時、佐倉市社協に集められた支援物資を積んでメンバー3人で佐倉を出発、10時には仙台の宮城復興支援センターに到着しました。そこで担当者から「被災地ではボランティアという名目で観光に来ている人がいる。むやみに記念撮影したり、手伝いをお願いしても、作業中に帰りの渋滞のことを心配していたり、ボランティアに対する不信感が募っている。一週間いてくれると意思の疎通もできるようなのですが」と意外なことを聞かされました。

また、助けたいという気持ちと向こうの求めることが違っている場合がありました。重機の扱いや特殊な技術提供は大歓迎だが、一般的な支援活動はほぼ足りている。ゴールデンウィークは渋滞の整理やボランティアへのお断りで終わってしまう。私達は何も言えませんでした。継続的な物資とお金の支援が欲しいとのこと。今回は支援物資という形で協力できた。これは社会福祉協議会の信頼性と物資の収集力、管理能力があったからこそ実現できた。そこに青年会議所の持つ若い力、迅速かつ力強い行動力が加わり、確かな一歩が踏み出せたと思う。午後8時に佐倉帰着、18時間にわたる輸送が終わりました。

【佐倉市社協事務局より】

被災地でのボランティアの目に余る行為が問題になっています。一部ではあるにせよ、被災地や被災者にとつては迷惑千万です。災害支援はあくまでも被災地、被災者の要望に沿った支援が大切であり、善意を押しつけ復興支援の妨げにならないよう心がけましょう。



佐倉市災害ボランティアセンターへのご協力のお礼

平成23年3月28日に設置した佐倉市災害ボランティアセンターは、被災者への物的、人的支援活動が一段落しましたので4月30日に閉鎖いたしました。その間、市内で家屋の全壊、半壊した世帯や青少年センターに避難されている方々のニーズに添って、登録されたボランティアの方々に活動していただきました。現在は、佐倉市ボランティアセンターの通常の業務の中で引き続き支援しています。

社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりをめざして活動しています。今後ともお力添えいただきますようお願い申し上げ、これまでのご協力の御礼とさせていただきます。ありがとうございました。

活動報告 (平成23年5月2日現在)

- ①市内の被災者の支援
全壊、半壊の世帯のニーズを民生委員から情報提供を受け、2世帯に震災ごみの片付け、搬出等をボランティアが実施。
- ②福島県からの被災者支援
岩名青少年センターの避難者及び松ヶ丘地区の避難者への物資の提供、ボランティアの派遣、その他随時ニーズ把握と対応、ボランティアグループによる配食サービス、理容ボランティアによる整髪、通院の支援等。
- ③被災者への救援物資の募集
商工会議所及び市内企業、個人からの提供を受けた。食料品は米165kg、レトルト食品、缶詰、調味料等。生活用品は学用品、衛生用品、介護用品、台所用品等。
- ④市内で生活する被災者支援ボランティアの募集
団体は30団体、個人は62人のボランティア登録を実施。
- ⑤東北地方の被災地支援
・情報提供と全国社協のボランティア保険加入手続き等 保険加入者数 29件
- ⑥その他
・住まいの提供申し入れ件数 7件
・災害ボランティアセンターへの問い合わせ件数 121件

東日本大震災たすけあい義援金寄附者ご芳名

平成23年5月15日現在

選挙運営委員会 増田啓子 手話ダンス虹 手話ダンス・ロード ふれあいサロン千成 南部
地域福祉センター 下志津小学校児童会 社会福祉法人愛光 社会福祉法人愛光後援会 愛の
灯台基金 岩井光三 関根直也 評議員有志 うすい東地区社協 勝山進 染井野1・2丁目
役員会 志津南地区社協 西志津地区社協 さんばみち バンド・リ・ボン 王子台地区社
協 佐倉小学校ガードボランティアひまわり会 大佐倉子ども会 石栗 王子台小学校6年生
佐倉ブリッジ同好会 モーニングクラウド 房田正一 高橋博久 只縄登 只縄一子 松原章
青少年育成住民会議 飯野区 西川陽子 ボランティア活動助成金対象選考委員会 関口正久
櫻太鼓 志津地区社協 NPO法人Leven 志津地区青少年育成住民会議 将門町町会 岩崎
隆夫 石川県営住宅 夏坂博文 川原栄一 木野子区 根郷角栄 小林光一 石井利秋 高柳
重男 喜多延鷹 財団法人佐倉緑の銀行 小坂正晴 グリーンヒル佐倉クラブ(老人会) 第
2松が丘自治会 チューリップの会 小原稜子 佐藤武 V・Gマーガレット 井口勉 井口
美津子 生谷東洋団地 大崎台1丁目町内会 松が丘自治会 勝尾治子 千代田地区社協 秋
山絹子 さくら山王自治会 馬渡区 クラッセ佐倉自治会 松ヶ丘防犯グループ 朗読サロン
こおろぎの輪 西志津離子友の会 白井地区社協 佐倉日蘭協会 原田泰雄 原田久美子 松
谷昭 加藤富佐子 西志津四季の会 ボランティア・チューリップの会 (有)タカオ産業 佐倉
城の辺地区社協 太田区 石川幸子 フィットネスクラブ・ウスイ 金山英二 飯野区伊藤利
郎他5名 ユーカリチャリティコンサート実行委員会 寺崎東部 寺崎西部 あしたの会有志
八幡台クラブ片岡富美子 長岡嘉雄 佐倉市こおろぎの会 榊原静子 西坂逸夫 大篠塚 宮
前ローズタウン 石渡静男 春路自治会 表町浅間前自治会 越牟田祐子 佐倉金比羅ふれあ
い市 内郷地区社協 田中宣子 料理兄弟 英会話クラブ「スマイルイングリッシュ」ボー
イスカウト佐倉第4団 佐倉地区民協有志 千成自治会 ユーカリ和の会 染井野5丁目町内
会 表町 表町第1ブロック第2班有志 株式会社小川園 佐倉被災地支援の会 裏新町第一
町内会 神門自治会 ヘアハウスミント 老人福祉センター内カラオケ愛好会 小篠塚区 ふ
きのとう・やまぶき グリーンヒル佐倉自治会 渡辺怜子 佐倉刻字愛好会 佐倉舞踊団体連
合会 よつといで ケアハウスちとせ 楡の会 大崎台2丁目町内会 六崎区 宮本区 高田
達雄 心のふれあいボランティア・ひびき 井原重之 藤治台自治会 森フラスタジオ 永井
けい子 石川区 大山クラブ有志 (株)YOUSOFY TRADING ユーカリが丘5丁目自治会 内
田勝也 将門クラブお花見会 小出 防犯パトロール王六会 志津ユーカリ苑職員一同 小寺
淳三 社会福祉法人自州会 佐倉陸友会 根郷角栄ふれあい居酒屋 城区 ハッピーはっぱ
裏新町第2町内会 岩富地区 岩富町地区 飯塚地区 宮内地区 七曲地区 内田地区 西御
門地区 佐倉市民謡連合会会員一同 佐倉草ぶえの丘 坂戸地区 押尾彰一 光英塾京成駅前
教室 光英塾千成本教室 若葉会 若葉会(白井) 大崎台3丁目自治会 (敬称略：順不同)
※その他福祉センター等に設置された募金箱に多数ご寄附いただいております。

快適・安心・安全をお届けします
イオン&旬鮮館と32の専門店



京成臼井駅前
〒285-0837
佐倉市王子台1-23 Tel. 043-461-1871

鮮やかに、
TS



テオー印刷

佐倉市鐺木町1137-4
☎ 043(484)0321(代)
http://www.teoh.co.jp

